

# 鎌ヶ谷市の市長が変わる・・・

## 新市長が担うべき方向性は、

### 「これまでの延長ではダメ」

(試案)

コロナパンデミックの原因は？異常気象の原因は？

自然を壊した、地球環境を壊した経済発達至上主義(新自由主義)の結果です。

○自然を地球環境を取り戻そう・・・自然との共生

“グリーンニューディール”

○コロナウイルス感染症対策・・・PCR 検査体制 (世田谷モデル) +

医療体制の整備で社会活動・経済の拡大

新型コロナ感染症があぶりだした社会・経済の矛盾、問題点

“新自由主義から『分かち合いの社会・経済』へ

I、エッセンシャルワーカー (必要な仕事) についているのに正当に評価されていない。エッセンシャルワーカーを正当に評価する社会・経済へ

非正規・女性労働者の正規化・・・同一価値労働同一賃金

介護・保育士の処遇を正当な処遇に

看護師の処遇を改善

ごみ収集者の方々を正当に評価する

正しい労働政策を、所得主導経済へ

II、医療・看護・介護・福祉の切捨て (新自由主義)

社会的共通資本が“私”によって食い尽くされた。

“公”の復権：医療・介護・福祉に多くの人材を投入

従事する公務員の数を増やすことで雇用の創出

医療・介護・福祉・・・地域包括ケアシステム

社会福祉事業を公が担う (公務員の拡大化)

病床・病院・診療所の確保

プライマリーヘルスケア

“現物支給サービス”で福祉の充実、職場の創出

III、居宅を失っている路上生活者、ネットカフェ住民に居住を

「住宅は人権」の考えで“公”が居を準備する

居住政策の転換

IV、一極集中システムの崩壊

地域分散型のエネルギー政策・産業構造の構築を

①再生可能エネルギー：自治体発電・市民発電、電気自動車  
(電気料金の地域内循環)

スマートグリッドによるエネルギーのスマートシティ

②「家族農業・小農の権利宣言」で農家が自立することによる

食料自給率のアップ、食糧安保を地域から  
都市農業：梨・野菜・米・有機農業  
学校給食・公共給食との連携で

③知識集約的産業・・・ものづくりと連動し

“医療・介護・福祉” “教育” “IT” の知識集約的事業の展開を

V、市民・住民の政策決定への参画のシステムがない

旧来のシステムではコロナパンデミックに対抗できず。

\* c f 韓国では主体的市民が行政と協治

医療・感染症・デジタル・オンライン化の課題に  
住民の目線と自己情報コントロール権に基づく  
自尊の観点から大きく発展させる必要がある。

\* c f 事業決定への市民参加

タウンミーティング、抽選市民参加方式で  
市民参画システムを

住民投票条例、公契約条例。自治基本条例  
都市計画&土地利用について市民参画とオープン会議

“透明性・公開性” の確立

2021年～の基本構想と総合基本計画（実施計画確定中）が出されているがこ  
れらの課題をすべて包摂する街づくりの方向性は・・・

自然との共生《グリーンニューデイル》

普遍的福祉

社会的共通資本を公が担い確立する

所得主導経済（エッセンシャルワーカーの処遇適正化

同一価値労働同一賃金）

による医療・介護・福祉・教育・食・の安心して暮らせる街づくりへ  
一歩も二歩も前進させる

ふじしろ政夫

2020年9月1日